

◆14 番（小川義昭議員）

いずれにしても、市民協働で創るまちづくり、これは白山市 11 万市民にとっては将来にわたって大変重要な課題でございます。したがって、市民あっての、市民主体のまちづくりであります。

それで、それぞれのやはりこれからもそれぞれの地域の皆さんが十分理解し、そしてしっかりと納得ができるまちづくり制度に向けて、今後ともしっかりと地域の皆さん方と協議を進めて、進めていただきたいというふうに思います。よろしくお願いたします。

次の質問は、白山市本庁舎と公立松任石川中央病院の間の土地利用策についてであります。

かかるエリアの土地利用策の提言については、これまでの会議において幾度となく質問してまいったのですが、白山市の近未来を見据え、さらにその先を展望する上で、行政を集約する当該エリアの整備、再開発ほどの射た計画はないものと確信しています。

この際、改めて本庁舎と公立松任石川中央病院間の区域の土地利用策についての私の質問と、市長の答弁内容を整理してみたいと思います。

まず、私の質問内容は、国は地方の活性化を目指す施策の中で、地方創生の戦略の一つとして時代に合った地域をつくり、地域と地域の連携を図るために、地方都市の経済圏・生活圏を形成する都市のコンパクト化や交通ネットワークの形成を行い、地方都市のホームとなる中心市街地を活性化させるために、包括的政策パッケージの策定を行うと掲げている。

これに沿う形で、本市の基本目標にも、平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐとあり、その施策の基本的方向として医療・福祉の充実と健康づくり推進が掲げられている。

そこで、本庁舎と公立松任石川中央病院間の土地利用の在り方、拠点構想について、この区域を医療、福祉、介護などの総合施設として集約整備し、健康センター松任や地域福祉活動の拠点施設などの行政の健康・福祉部門施設及び機能を統合すると同時に、市内に点在するハローワークや松任税務署など国の施設、石川中央保健福祉センターや石川農林総合事務所など県の施設、さらにはあさがおテレビなど市の施設を当該区域に集積統合し、公共・公益施設の集積ゾーンとして新たな都市再整備を行ってはいかがか。

そのことにより、中心市街地活性化などのまちづくりに向けたコンパクトシティの推進が図られ、行政と医療、福祉、健康機関及び大学が一体となり、雇用の機会が増えるだけでなく、多くの人が集いにぎわいも創出され、より一層の行政サービスを市民の皆さんに提供できる拠点エリアになる。また、そのことにより、松任文化会館一帯に広大な駐車場を確保する余裕も生まれ、確たる青写真に沿ったまちづくりが可能になる。

少子高齢化社会を迎えたこの時期、人口減少の歯止めには人が、特に若い人が集まるまちづくりが求められている。金城大学の看護学部が開校したことでもあり、これらの課題の解決が期待できるのもこの場所、この区域だと思う。

また、合同庁舎を含む整備に対しては、国・県からの財源的な手当ても期待できる。真剣に検討してはいかがか。

少々長くなってしまい恐縮ですが、以上がこれまでの会議においての私の質問骨子であります。

こうした私の問いかけに対し、山田市長は次のように答弁しています。

当該地区は、市役所をはじめ松任総合運動公園、公立松任石川中央病院、金城大学看護学部など公共・公益施設に囲まれた地区であり、都市計画上は市街化調整区域となっているが、周辺の状況を勘案すると今後は市街化区域に編入することが適当な地域と認識しており、公共施設ゾーンとしての土地利用がふさわしいと考えている。また、倉光町や地権者の方向もそのようであると伺っている。

なお、小川議員からの指摘の病院の問題とかいろんな公共施設のやり替えの問題とか、そういった問題があるので、どのような土地利用を行うか、またどのような施設の立地が可能かは地元の意向等も踏まえながら進めたいと考えている。

現在、第2次白山市総合計画に基づき、都市計画マスタープランの改定作業を行っており、平成32年、2020年3月か4月に策定される新しい都市計画マスタープランに、当該地区の土地利用をまず決めることからと考えている。

以上が、これまでの議会において、私の質問に対する市長の答弁でありました。

そこで、質問いたします。

まず1点目、市長の答弁にありましたように、昨年の令和2年、2020年3月に第2次白山市都市計画マスタープランが策定されました。改定された都市計画マスタープランにおいて、白山市本庁舎と公立松任石川中央病院間の区域の土地利用の方針は、どのように位置づけされたのでしょうか。確認の意味を込めて改めてお伺いします。

次に、2点目の質問です。市長は、本庁舎と公立松任石川中央病院の土地利用については、改定された第2次都市計画マスタープランに基づき決定するとこれまでの答弁でいただいております。

その第2次白山市都市計画マスタープランは、昨年3月に策定され、当該区域の土地利用の方針も位置づけられたことでもありますし、この区域においては既に公共施設ゾーンとしての土地活用がふさわしいとの答弁もいただいておりますので、本格的に当該区域を、私がこれまで提言してきました公立松任石川中央病院を中心とした医療、福祉、介護など行政の福祉部門を統合した機能や、市内に点在している国・県の公共施設を集積統合した公共・公益施設を集積ゾーンとして開発する方向性を明確にしてはいかがでしょうか。

この壮大な事業を実現するには、これから幾つかの大きな課題、難題があるかと思われ
ますし、その実現に向けては長い歳月を要するのではないのでしょうか。

山田市長御自身、来年度は市長就任2期目の最後の年度であります。そのためにも、
白山市の将来のまちづくりの展望を見据えた大きな事業計画として、当該区域を公共・
公益施設の集積ゾーンとしての開発に向けての方向性を具体的に打ち出し、ぜひ来年度
の中期事業計画に盛り込んで取組を開始してはいかがでしょうか。市長の見解をお伺い
いたします。